

国際保健推進室からのお知らせ

看護学専攻の学生海外派遣

昨年度は4つの学生海外派遣事業を実施しました！

9月 モンゴル



3月 イギリス



3月 フィリピン



3月 カンボジア

UW交換留学生の受入

検査技術科学専攻では毎年UW（米国ワシントン大学）から短期留学生を受け入れています。今年度は学生（3名）だけではなく、臨床検査技師の教員も同行しました。学生は授業・実習の補助、昼食や夕食の引率、キャンパス案内などを主体的に担当し、留学生と協働して学びを進めました。UWの教員を交えた実習では、日米の検査体制や教育の違いについて意見交換が行われ、学生にとって国際的な視点を広げる貴重な機会となりました。

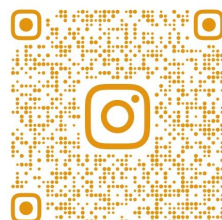
（右）米国と日本の検査技術教育の違いをディスカッションしました。

（下）米国では未経験の臨床検査実習を群大学生が率先して教えながら共に学びました。



群馬大学医学部保健学科及び大学院保健学研究科【看護学、生体情報検査科学、リハビリテーション学(理学療法学・作業療法学)】では、社会の課題解決を目指して、研究、教育、地域保健活動、国際保健活動に積極的に取り組んでいます。また、これらの活動を進めるための組織として保健学研究科附属研究・教育センターが設置され、このセンター内には5つの推進室があります。今回は国際保健推進室からの報告になります。

私たちの活動を**保健学科公式インスタグラム@gunmahealth**も併せてご覧いただければ幸いです。



@GUNMAHEALTH